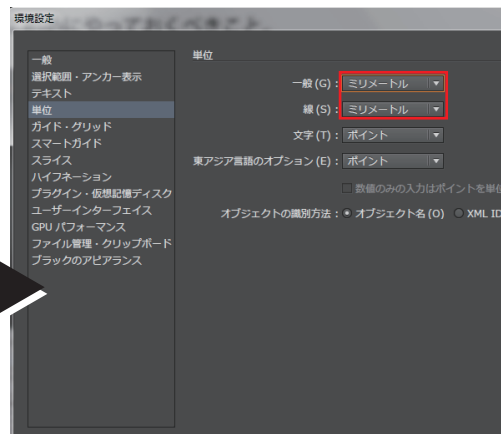


Illustrator で絵型を描く。

効率的に作業を進めるために初めにしておくべきこと。

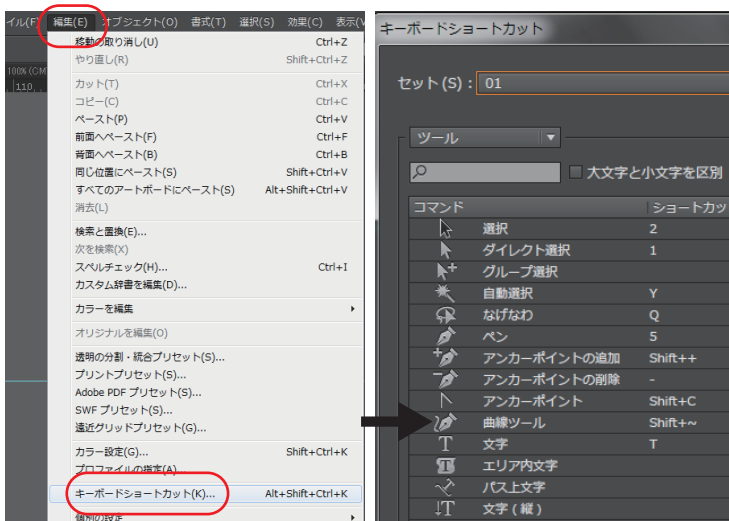
Illustrator で絵型を書く前に

編集メニュー → 環境設定 → 単位から
一般と線をミリメートルに変更しておく。



もし皆さんがミリよりも、
ポイントのほうが
分かりやすいと
言うのであれば
そのままの構わないが
筆者はポイントで線幅を
決めるのはピンと来ない！

キーボードショートカットを登録しよう。



編集メニューからキーボードショートカットで設定する。

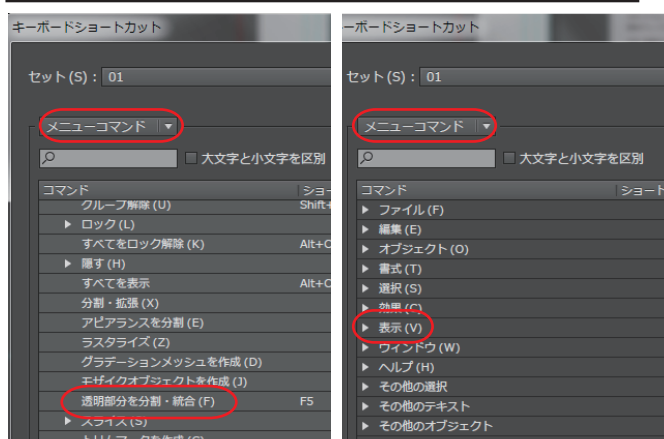


Illustrator で絵型を描くと言っても

全てのツールを頻繁に使うわけではない。
私の場合最も良く使うツールのみを登録している。
因みにアルファベットのキーに登録すると
覚えにくい上左手の操作が複雑になるので
私の場合は全て数字にしている。

これは必要最低限の登録だが
私の場合、ダイレクト選択 1 選択 2 ズーム 3
手のひら 4 ペンツール 5 ハサミ 6
とキーに振り分けているが、
実際現状はあまり手のひらは使っていない。

ツールの設定が終わったらメニューコマンドも設定しよう



透明部分分割統合は
メニューコマンド内の
オブジェクトの中にある。

プレビューは
メニューコマンド内の
表示の中にある。

キーボードショートカットの登録で外せないのがメニューコマンドだ。
絵型を描く際には実は並行した線を描く様な事が頻繁にある
その際役に立つのがメニューコマンド内の透明部分の分割統合だ。
メニューコマンドはファンクションキーにのみ登録出来るので
筆者は透明部分の分割統合を F5 に登録している。
更に、線の結合状態をチェックするのも外せない機能として
プレビュー、アウトラインの切り替えを F1 に登録している。

作業スピードを上げる上で外せないのがキーボードショートカットだ
実は筆者は一日 16 時間にも及ぶ PC 作業が続いた頃腱鞘炎になった。
その頃から使い始めた機能がキーボードショートカットだ。
当初はツールを切り替える作業を無くすだけでも右手へかかる負担が
大幅に軽減されるのではと考えていたが、
結果的には作業時間の短縮にも繋がった。

大規模な教育機関等は起動毎に設定がリセットされることがあります